

# ポジティブ行動支援（PBS）の 推進準備／実行度チェックリスト

大阪教育大学  
庭山和貴

## 本日の内容

- ポジティブ行動支援（PBS）の基本
- PBS推進準備チェックリストについて
- PBS実行度チェックリストについて

## 自己紹介： 庭山 和貴 （にわやま かずき）

### 所属

大阪教育大学 総合教育系 高度教職開発部門 准教授／学長補佐  
博士（心理学）、公認心理師

日本ポジティブ行動支援ネットワーク（APBS Network JAPAN）副代表理事

### 専門

学校規模ポジティブ行動支援（SWPBS／PBIS）

応用行動分析学に基づく発達障害／知的障害のある子どもへの支援

### 関わりのある事業（一部）

徳島県教育委員会 新時代「発達障がい教育」  
推進プロジェクトチーム

大阪市教育委員会 エビデンスベースの学校改革

特別支援教育専門家チーム・アドバイザー

尼崎市教育委員会 教育振興審議会委員、学校支援専門家派遣事業

## ポジティブ行動支援（PBS／PBIS）とは・・・

教職員の「こんな姿になって欲しい」  
児童生徒の「こんな姿になりたい」を  
実現するための枠組み

※特定のプログラム・手法ではありません



**ポジティブな行動を  
ポジティブな（かつ効果が実証された）アプローチで  
伸ばしていくのが特徴**

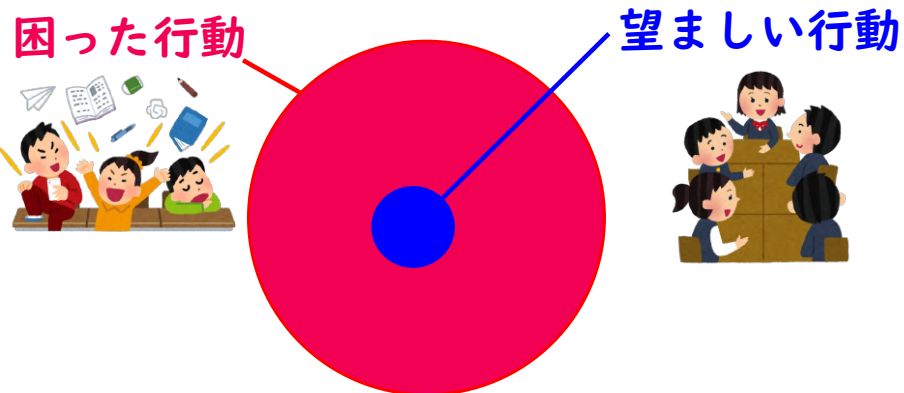
→子どもとその関係者のQOL／ウェルビーイング向上が目的



## 重要な考え方

困った行動への事後的対応だけでなく

→「望ましい行動を増やすアプローチ」



ポジティブ行動支援では・・・

行動の前

- ・具体的に何をすれば良いのか伝える
- ・お手本を示す
- ・ヒントを出す
- ・物理的環境を整える

など

行動

望ましい行動

目標を明確に！

行動の後

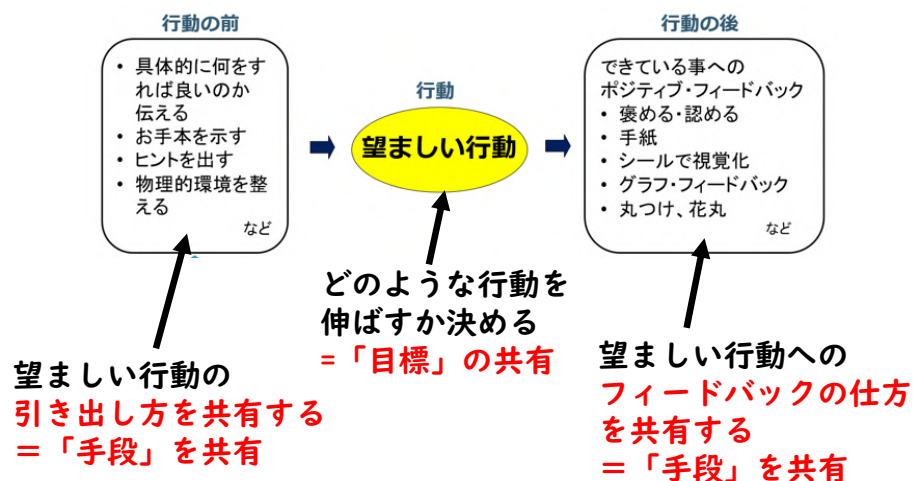
- ・できている事へのポジティブ・フィードバック
- ・褒める・認める
- ・メッセージ
- ・シールで視覚化
- ・グラフ化
- ・丸つけ、花丸

など

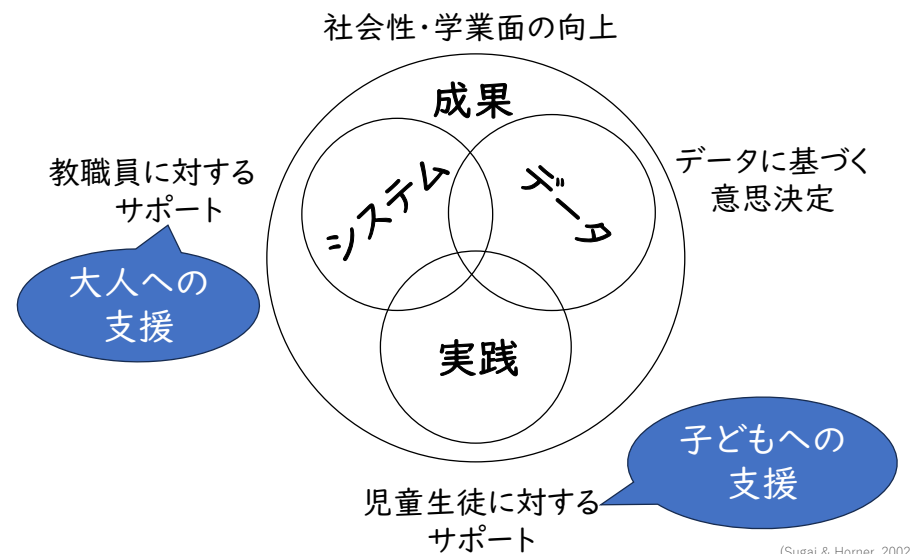
子ども達が  
「こうすれば良いのか」  
「やってみよう」  
「できるかも」  
と思える仕掛けを作る！

子ども達にとって  
「やった！」「できた！」  
「頑張った！」  
と思える仕掛けを作る！

学校全体で取り組めると、より効果的！



学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) の要素





## 学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)を 実行するための4段階 (若林・半田・田中・庭山・大対, 2023)

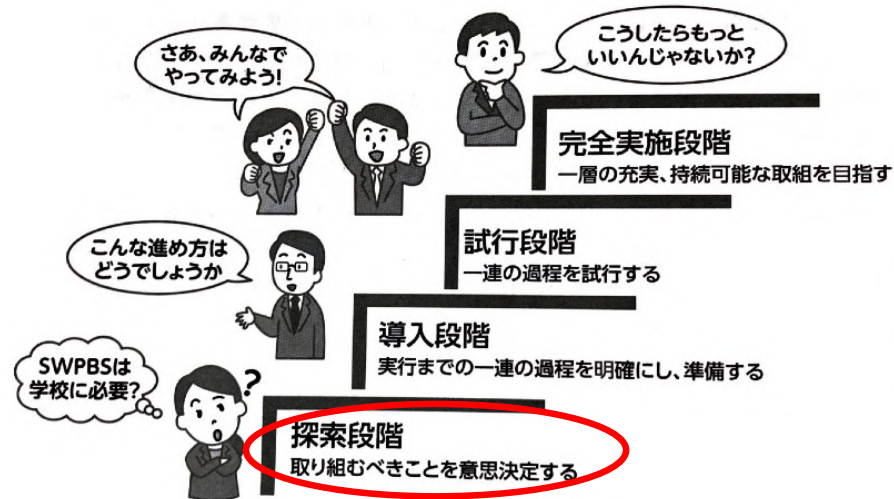


図 1-3-1 SWPBS 実行の4段階

37頁参照

別紙 3

ポジティブ行動支援(PBS)推進準備チェックリスト(とくしま県版)

学校名

職名 記入者名

番号	項目内容	得点の基準	点数
1	管理職とPBSを担当を含むPBSの校務分掌もしくは校内組織が構成されている(既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい)	0:PBS担当者、PBSを運営する校内組織のどちらも存在しない 1:PBS担当者、PBSを運営する校内組織のどちらかが存在する 2:PBS担当者、PBSを運営する校内組織の両方が存在する	
2	PBS実践者は、定期的(月に1回程度)に実行状況について、PBS担当者(もしくは、一緒に取組に関わる教員)と打ち合わせをしている(学年会や校務分掌の会議の一部としてなどでも可。打ち合わせ時間は問わない)	0:年間において、一度も打ち合わせをしていない 1:年間において、不定期で打ち合わせをしている 2:年間において、定期的(月に1回程度)に打ち合わせをしている ※年度当初のチェックでは昨年度について、年度末のチェックでは、今年度について回答	
3	PBS実践者が取り組んでいる、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き出すための工夫をすること、望ましい行動を承認・称賛することなどについて、学校・園全体の教員に通知されている	0:学校・園の教員に通知されていない 1:学校・園の一部(実践に関わる教員を含まない)に通知されている 2:学校・園全体の教員に通知されている	
4	PBS実践者は、PBSの実践に関して、何らかの記録やデータを取り、それを定期的に教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用したりしている	0:記録やデータを取ることをしていない 1:記録やデータを取ってはいるが、教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックには活用したりしていない 2:記録やデータを、教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用したりしている	
5	全ての教員が参加するPBSの実践に取り組むための研修が計画もしくは実施されている(年に1回以上、15分程度のミニ研修も含む)	0:PBSについての研修を計画・実施していない 1:一部の教員が参加するPBSについての研修を計画・実施している 2:全ての教員が参加するPBSについての研修を計画・実施している	
6	管理職は、総合教育センターが主催する「PBS・パワーアップセミナー」について知っており、PBS担当者を派遣することに賛同している。	0:セミナーを知らない、かつ、セミナーの参加に賛同していない 1:セミナーへの参加を検討している	

ポジティブ行動支援を校内で推進していく  
ために、何からしたらよいの?



## 学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)を 実行するための4段階 (若林・半田・田中・庭山・大対, 2023)

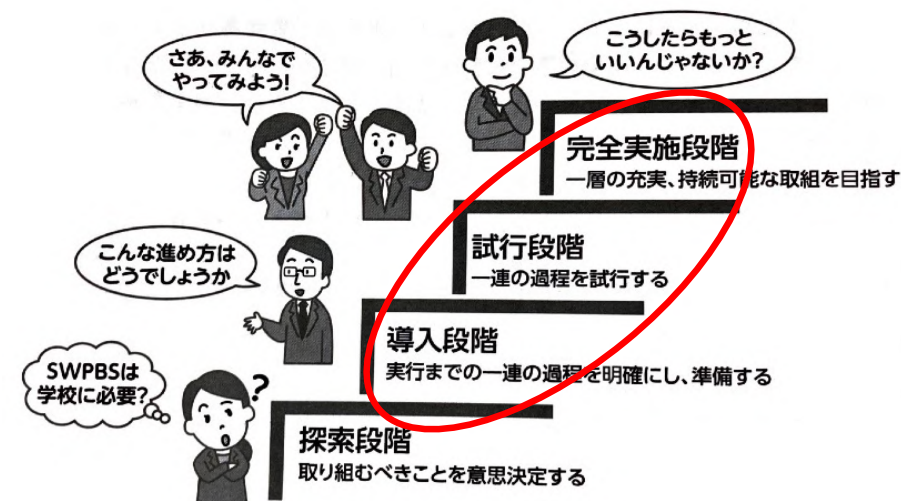


図 1-3-1 SWPBS 実行の4段階

37頁参照



番号	項目内容	得点の基準	点数
1	PBS担当が複数配置されており、管理職とPBS主担当を含むSWPBSの校務分掌もしくは校内組織が構成されている（既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい）	0:PBS担当者と、SWPBSを運営する校内組織のどちらも存在しない 1:1名の担当者と、SWPBSを運営する校内組織のどちらかが存在する 2:複数の担当者と、SWPBSを運営する校内組織の両方が存在する	
2	上記のSWPBS校内組織は定期的（月に1回程度）に実行状況について打ち合わせをしている（職員会議、校務分掌の会議の一部としてなどでも可。打ち合わせ時間は問わない）	0:年間において、一度も打ち合わせをしていない 1:年間において、不定期で打ち合わせをしている 2:年間において、定期的（月に1回程度）に打ち合わせをしている ※年度当初のチェックでは昨年度について、年度末のチェックでは、今年度について回答	
3	教員（または児童生徒）の合意形成をもとに、何が望ましい行動なのかを示すポジティブ行動マトリクスが作成され、校内各所に掲示されている	0:ポジティブ行動マトリクスが作成されていない 1:ポジティブ行動マトリクスが作成されているが、掲示されていない 2:ポジティブ行動マトリクスが作成されており、校内に掲示している	
4	マトリクス上の望ましい行動が、全児童生徒に具体的な説明とお手本（児童会・生徒会による劇やロールプレイ、モデリングビデオの作成、視覚的支援など）を用いて教えられている	0:マトリクス上の望ましい行動が、教えられていない 1:マトリクス上の望ましい行動について、各教員の裁量に任された状態で教えられている 2:マトリクス上の望ましい行動について、学校全体で指導計画や指導方法の共有がされており、具体的な説明とお手本を用いて教えられている	
5	学校・園として、児童生徒の望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画かつ、教員間で共有されており、教員の9割以上が実際にポジティブなフィードバックを行っている 【2点の例】あいさつができた児童生徒に対してチケットを渡すとともに称賛すること、全教員が取り組んでいる 【1点の例】チャイム着席ができている児童生徒を称賛するとともに、よくできた学級には賞状を授与する取組を学年全体で行っている	0:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されていない 1:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されており、一部の教員が行っている 2:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されており、教員の9割以上が行っている	
6	各学級においても、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き出すことを行うこと	0:各学級においては、学校・園全体と同じ方向性でPBSの実践が行われていない 1:一部の学級において、学校・園全体と同じ方向性でPBSの実践が行われている	

## SWPBSは複数の要素からなる枠組み



望ましい行動へのポジティブなフィードバック

[illegible]

全校的な望ましい行動の教示

徳島県立総合教育センター「特別支援まなびの広場」  
(<http://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/>) より



全校的な望ましい行動の  
スキルトレーニング

いずれもSWPBSの「実践の一部」ではありますが…

## 学校全体でポジティブ行動支援に 取り組むには、何をしたらよいの？



では、何をするのが  
「SWPBS」なのでしょう？

→SWPBSとは何をするのか？という「全体像」を示し、必要な要素をどれだけ実行できているか数値化可能にしたものとして **実行度尺度** (Implementation fidelity measure) というチェックリストがあります



# 日本語版 Tiered Fidelity Inventory (TFI)

※SWPBSがどこまで実行できているか？のチェックリスト

(日本ポジティブ行動支援ネットワーク, 2022)

## 第1層支援

チーム	1.1 チーム構成
	1.2 チームの運営手順
実践	1.3 「学校で期待される姿」の設定
	1.4 目標行動の指導
	1.5 問題行動の定義
	1.6 生徒指導の方針
	1.7 教職員研修
	1.8 学級の手続き
	1.9 フィードバックと承認
	1.10 教員の関与
	1.11 児童生徒／保護者／地域の関与
評価	1.12 生徒指導に関するデータ
	1.13 データに基づく意思決定
	1.14 実行度のデータ
	1.15 年度評価

具体的な項目はここからご覧になれます

日本ポジティブ行動支援ネットワーク

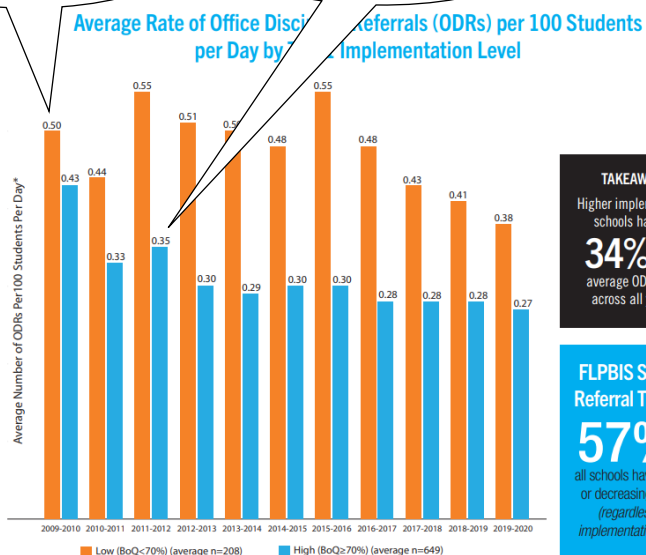


## 第1層支援:学校全体に対する SWPBS の特徴

特徴	利用可能な情報源	得点化の基準
下位尺度:チーム		
<b>1.1 チーム構成:</b> 第1層支援のチームは、第1層支援担当のコーディネーター、学校長、保護者と、次の(1)から(5)のことが提供できる者を含んでいる。(1)応用行動分析学の専門性、(2)教職員への指導・助言・フィードバック等に関する専門性、(3)児童生徒の学習と行動のパターンに関するデータへのアクセス権限、(4)学年や教科全域にまたがる、学校運営についての知識、(5)また高校においては、生徒の代表がチームメンバーに含まれること。	・学校組織図 ・第1層支援チーム ・会議の議事録	0 = 第1層支援チームが存在しない、または、コーディネーター、学校長、応用行動分析学の専門性を持つ者を含まない。  1 = 第1層支援チームが存在するが、必要な役割全員を含んでいないか、またはそれらのメンバーの会議の出席率が80%未満である。  2 = コーディネーター、管理職、必要な役割全員が含まれた第1層支援チームが存在し、かつ役割全員の会議の出席率が80%以上である。

実行度の低い学校(208校)

実行度の高い学校(649校)



TAKEAWAY:  
Higher implementing schools have a **34%** lower average ODR rate across all years

FLPBIS School Referral Trends:  
**57%** of all schools have stable or decreasing ODRs (regardless of implementation level)

<https://www.livebinders.com/play/play?id=2237091>

しかし、TFIは専門家と一緒に評価する必要があり、1回45分～1時間程度かかります

→そこでTFIの簡易版として、

とくしま版実行度チェックリスト

を作成しました



## 注意点として…

「実行度チェックリスト」は決して、  
学校現場の実践を縛るものではありません！

実行度の得点が算出できるようにはなっていますが、  
得点を上げることそのものは最終目標ではありません

→目標はあくまで各校のPBSの取組みの充実と、  
それを通じて児童生徒・教職員の利益に繋げることです

校内のPBS推進体制を整えていくうえで、  
「改善点はどこだろう？」「もっとできることは？」  
と考える際の参考にして頂くためのものです

## 項目 1

管理職とPBS主担を含むスクールワイドPBSの校務分掌  
もしくは校内組織が構成されている  
(既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい)

PBS推進担当



PBS推進を担当する  
校務分掌・組織  
(公式な位置づけあり)



## 例えば…

分掌部会									
健康教育部会			生徒指導部会				教務部会		
安全衛生委員長(〇〇)			生徒指導主事(〇〇)				教務主任(〇〇)		
保健主事(〇〇)			生徒指導部長(〇〇)				教務部長(〇〇)		
副部長(〇〇)			副部長(〇〇)						
			1年主担(〇〇)						
			2年主担(〇〇)						
			3年主担(〇〇)						
健康教育部会			生徒指導部会				教務部会		
保健衛生事業(〇〇)			生徒指導主事(〇〇)				総務(〇〇・〇〇・〇〇・〇〇)		
美化事業(〇〇)			生徒指導部長(〇〇)				元氣アップ(〇〇・〇〇・〇〇)		
庶務(〇〇)			副部長(〇〇)				時間割(〇〇・〇〇・〇〇)		
			生活(〇〇)				進路指導(〇〇・〇〇・〇〇・〇〇)		
			防炎(〇〇)				出席簿の管理(〇〇・〇〇・〇〇)		
			生徒会(〇〇)				放送(〇〇・〇〇・〇〇・〇〇)		
			ICT・広報(〇〇)				教科用図書(〇〇・〇〇)		
			部活動(〇〇)						
			総務部(〇〇)						



## 例えば…

### 1 学期 (Plan)

#### ①教員の PBIS の理解を深め、指導の際の共通の価値観を共有する

- ・職員研修の実施 (済)
- ・職員室マトリクス作成、教師間 GB チケットの実施 (済)

#### ②全校生徒への説明+生徒マトリクスの作成

- ・生徒マトリクスの作成、運営方法については各学年担当の裁量で実施 (済)

#### ③生徒会担当との打ち合わせ

- ・中の行動目標に合わせ、理想的な行動とそうでない行動を対比するようなビデオを制作する。  
制作にあたり、キャスト・脚本等を打ち合わせする。

### 2 学期 (Do+Check)

#### ①生徒マトリクスの再評価

- ・できているものに○をつけ、未達成の項目について評価・対策を練る
- ・必要であればマトリクスの内容を改善する

#### ②職員室マトリクスの再評価

- ・研修実施。達成項目に○をつけ、未達成の項目について職員室キャンペーンを開催する
- ・必要であればマトリクスの内容を改善する

#### ③大学教員による研修

- ・進捗の確認

## 項目 3

何が望ましい行動かの教員（または児童生徒）の合意形成をもとに、ポジティブ行動マトリクスが作成され、校内各所に掲示されている

校内各所に掲示されているでしょうか？

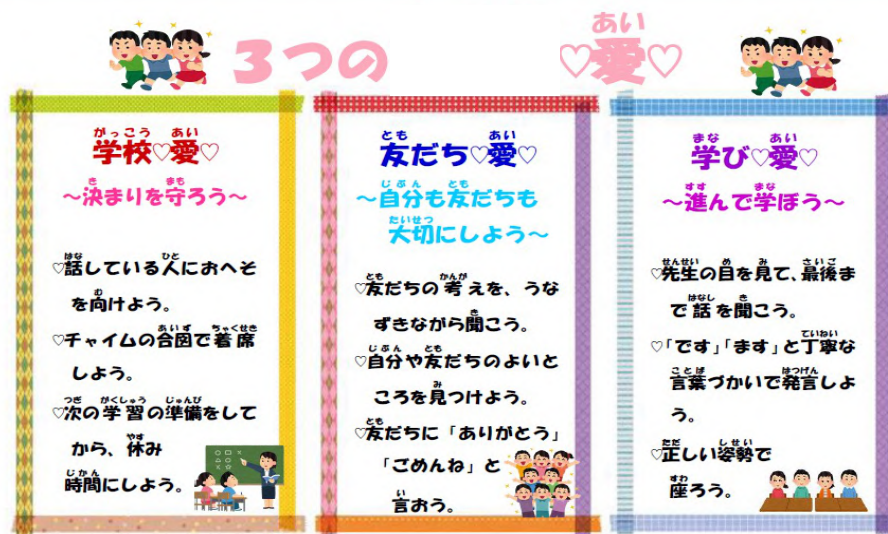
	きまりを守ろう	自分も友だちも大切にしよう	すてきなことをかけよう
授業中(教室)	<input type="checkbox"/> 授業が終わったら次の授業の準備をしよう <input type="checkbox"/> 授業が始まるまでに机の上を綺麗にしよう	<input type="checkbox"/> 話をしている人の方へおへそを向けよう <input type="checkbox"/> 「同じです」「そうです」「ありがとうございます」など教員している人に返そう	<input type="checkbox"/> 「です」「ます」と丁寧な言葉を使おう <input type="checkbox"/> 指名されたら「はい」と返事しよう
体育(体育館)	<input type="checkbox"/> 手拍子や集合・整列しよう <input type="checkbox"/> 使った道具は元の場所にもどそう	<input type="checkbox"/> 授業の準備や片付けを友だちと協力してやろう <input type="checkbox"/> 相手チームのすごいところを褒める言葉で返そう	<input type="checkbox"/> 自分のチームが負けても「がんばろう」「ドンマイ」と声をかけよう
そうじ	<input type="checkbox"/> そうじ場所にある決められたところのように入れよう <input type="checkbox"/> 自分の分組場所をそうじし終わったら、まだ残っているものを手配しよう	<input type="checkbox"/> そうじ分組をみんなで作ってやろう <input type="checkbox"/> 自分の分組が綺麗になったら、まだ残っているものを手配しよう	<input type="checkbox"/> そうじの仕方を教わり、同じ分組の人とあいさつしよう
中間休み 休み	<input type="checkbox"/> トイレをすませてから遊びよう <input type="checkbox"/> 予鈴を聞いたらずっと教室によう	<input type="checkbox"/> 友だちと話すときは「あー」「おー」と言おう <input type="checkbox"/> 友だちの名前をよぶときは「○○さん」と言おう	<input type="checkbox"/> 友だちに「ありがとう」「ごめんね」と言おう
うらめ	<input type="checkbox"/> うらめや喧嘩、ケンカで話をやめよう <input type="checkbox"/> ぐつぐつのくつやイレのズリッくをそろえよう	<input type="checkbox"/> 誰か人が怪けずおちがなかにけよう <input type="checkbox"/> 人にけずってもうたら「ありがとう」と言おう	<input type="checkbox"/> 友達が怪けずおちがなかにけよう <input type="checkbox"/> 学年がけがってもおちがなかにけよう

もえろ!

魂!

～みんなできるよ

まなび だま まな 学び魂 (学ぶ)	だま まも くらし魂 (守る)	おも だま おも 想い魂 (想う)
● 授業の準備をしてから 休けいしよう!	● チャイムがなったら 授業を始めよう!	● 相手を見て 聞こえる声で あいさつしよう!
● ノートは最後まで書こう!	● そうじ場所を時間内に きれいにしよう!	● 友だちと自分の いいところを見つけよう!







## 友情満開プロジェクト

～ 心に花を咲かせよう ～



	あいさつ満開	やる気満開	つながり満開
授業	<b>元気ハツラツ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業はあいさつからみんなでつくる</li> <li>イスを直し、正しい姿勢で発声しよう</li> </ul>	<b>チャイム前着席</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>最高のスタートを切ろう (2分前入室・授業準備・着席)</li> </ul>	<b>自分も大事 みんなも大事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分も相手も大切にできる関わりを心がけよう (アサーション)</li> <li>「こわからない」や「こわがる？」と自然と助け合える雰囲気をつくる</li> </ul>
休み時間	<b>あいさつの早押し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から進んであいさつしよう</li> <li>安心してあいさつできる雰囲気をつくる</li> </ul>	<b>1日1ほめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達や自分のいいところを見つけよう</li> <li>ものごとを色んな角度で見られるようになろう (リフレーミング)</li> </ul>	<b>「困った」が言える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達や大人、好きなこと困難な時に自分を助けたり支えになるものがある (レジリエンス)</li> </ul>
マナー・責任	<b>です。ます。マスター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味を理解して使おう</li> <li>美しい言葉を選んで使おう</li> <li>自分の言葉に責任を持とう</li> <li>「ありがとうございます」「失礼します」</li> </ul>	<b>給食職人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスク、エプロン、三角巾の準備</li> <li>ランチョンマットの準備</li> <li>黙食の徹底</li> </ul>	<b>いつも仲間思い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを想像しよう</li> <li>オンラインでの投稿、発言</li> <li>使う責任、消えない一言</li> </ul>

	わたくしがキラリ (自主自立)	あなたをキラリ (思いやり)	みんなでキラリ (コミュニケーション)
生活	<b>身だしなみ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>制服を正しく着用しよう!</li> <li>進路の受験や面接に適切とされる髪型を心がけよう!</li> </ul>	<b>サポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>休みの人の当番を手伝おう!</li> <li>優しい手助け、心遣いができる人になろう!</li> </ul>	<b>プラスの言葉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔であいさつしよう!</li> <li>「ありがとう」を増やそう!</li> </ul>
学習	<b>計画性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーサイトを活用しよう!</li> <li>提出物の期日を守ろう!</li> <li>休み時間に授業準備をしよう!</li> </ul>	<b>チームワーク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに協力し学び合おう!</li> <li>頑張りを認め合おう!</li> </ul>	<b>話す・聞く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>あなたがい聞き方をしよう!</li> <li>集中力をもって取り組もう!</li> </ul>
学年			

Positive Up Team!

各掲示場所に適したマトリクス掲示が  
されているとベスト!!

Hallway Expectations		
Safe	Respectful	Responsible
Walking Feet Face Forward Calm Bodies	Hands to Self Personal Space Eyes Only Level 0-1 Voice Silent Waves	Keep Right Stay Focused Go <b>directly</b> to Your Destination Have Hall Pass When Needed

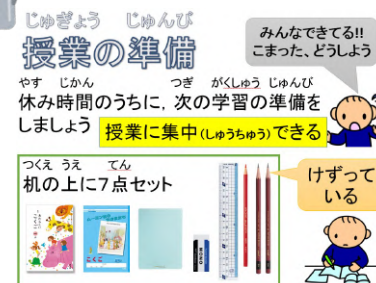
## 項目4

マトリクス上の望ましい行動が、全児童生徒に具体的な説明とお手本(児童会・生徒会によるモデル、モデリングビデオの作成、視覚的支援など)を用いて教えられている

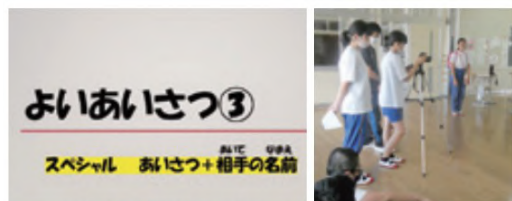
具体的なお手本



視覚的支援

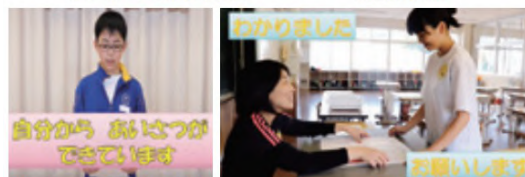






モデリング動画の内容

撮影の様子



あいさつのポイント紹介

あいさつの仕方の解説



練習セッション

モデリング動画の視聴

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>



「すてきなあいさつをしよう」の取組で用いられている  
掲示物 それぞれのポイントが示されている

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>



話者に注目する練習場面



練習場面では、たくさんの方の意欲的な児童たちから手が挙がり、話す人に素早く身体を向けて、聞く姿勢になることができていました。



教示用スライドの一部



教示用スライドの一部

話す人を「太陽」、聞く人を「ひまわり」に見立てて、実際に練習を行います。

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>

## 日常的な視覚支援 の例





## 項目 5

学校として、児童生徒の望ましい行動に対して  
ポジティブなフィードバックを行うための方法が  
計画かつ教員間で共有されており、教員の9割以上  
が実際にポジティブなフィードバックを行っている



褒める・認める



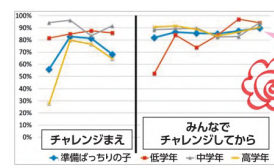
チケット



シール・スタンプ

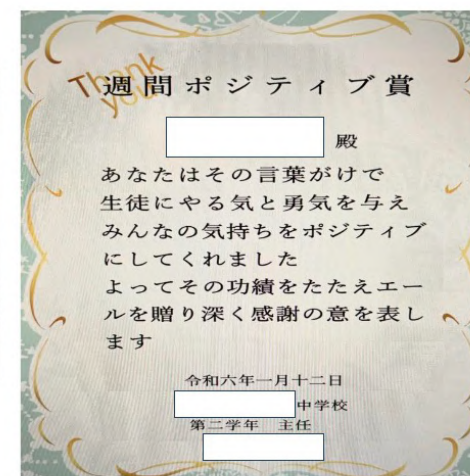
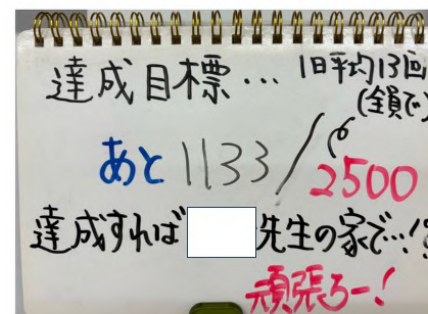


賞状



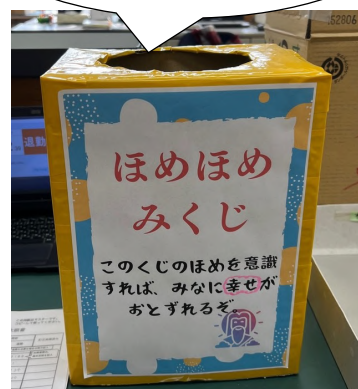
グラフフィードバック

## 口頭のポジティブ・フィードバックを増やす 教職員キャンペーンをするパターン



## 口頭のポジティブ・フィードバックを増やす 教職員キャンペーンをする パターン

いくつもボールが入っており、  
「授業中に10人褒める(い  
つも褒めない子を中心に)」「  
あいさつを褒めよう」など  
と書かれている

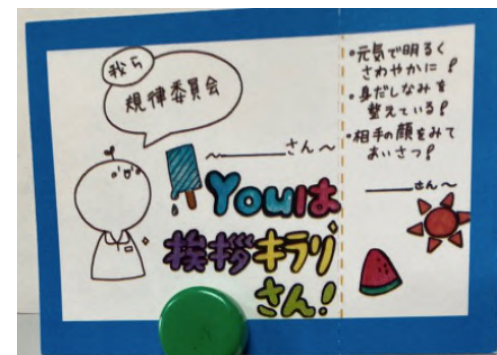


## シールを使うパターン





## 掲示物を完成させるパターン



PBIS活動報告書：規程委員

キャンペーン名  
あいさつ鯉のぼりキャンペーン

項目  
**私がキラリ**

実施期間  
5月26日(月)～5月30日(金)

目的  
生徒の挨拶態度を鯉のぼりのように高めて、あいさつ溢れるまともな学校にする!

内容  
① 規程委員が登校時間に挨拶を行い、良い挨拶をした生徒にGBチケットを配布!  
② 5日間、クラス毎のチケットの枚数によって台紙の鯉がのぼっていくのを競う。  
③ 規程委員は昼休み・終礼後にチケットの枚数を数えてその数に応じて台紙にある鯉を移動させる。  
④ 5日間通して、鯉が頂上にたどり着いたクラスのみ、龍に進化!  
あいさつを頑張ったクラスとして表彰する!

素敵な挨拶の基準  
① 相手に伝わる大きな声で! (声の大きさ)  
② 目を見て、あいさつしているか (目線)  
③ 必に響くあいさつがてきしているか (表情・声色・気持ち)

その他  
龍に進化したクラスと挨拶を頑張った人を朝礼で表彰する!





キャンペーンについて、  
評価・振り返りをするため  
のスペースを空けておく



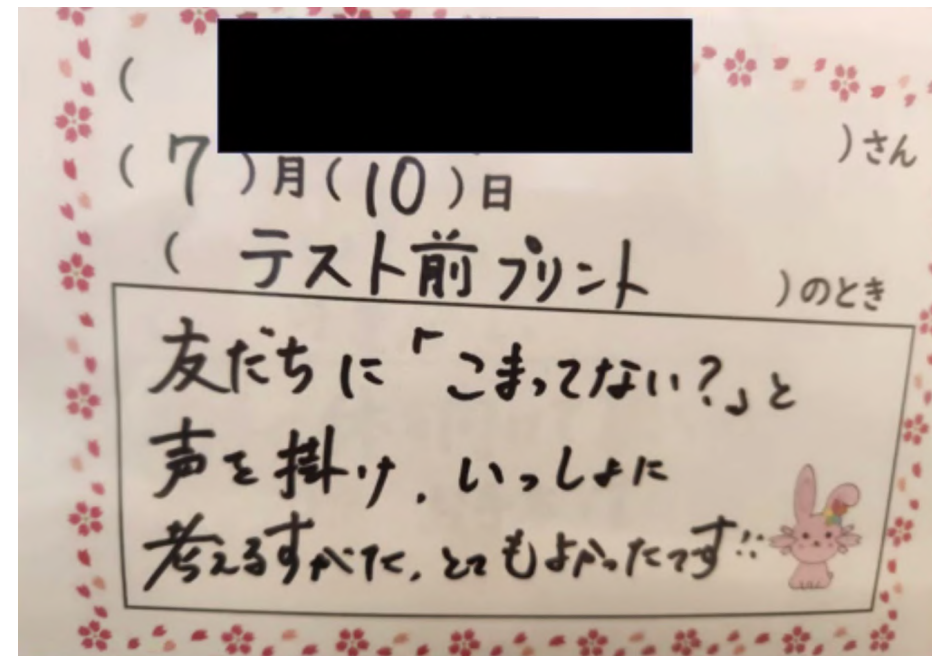
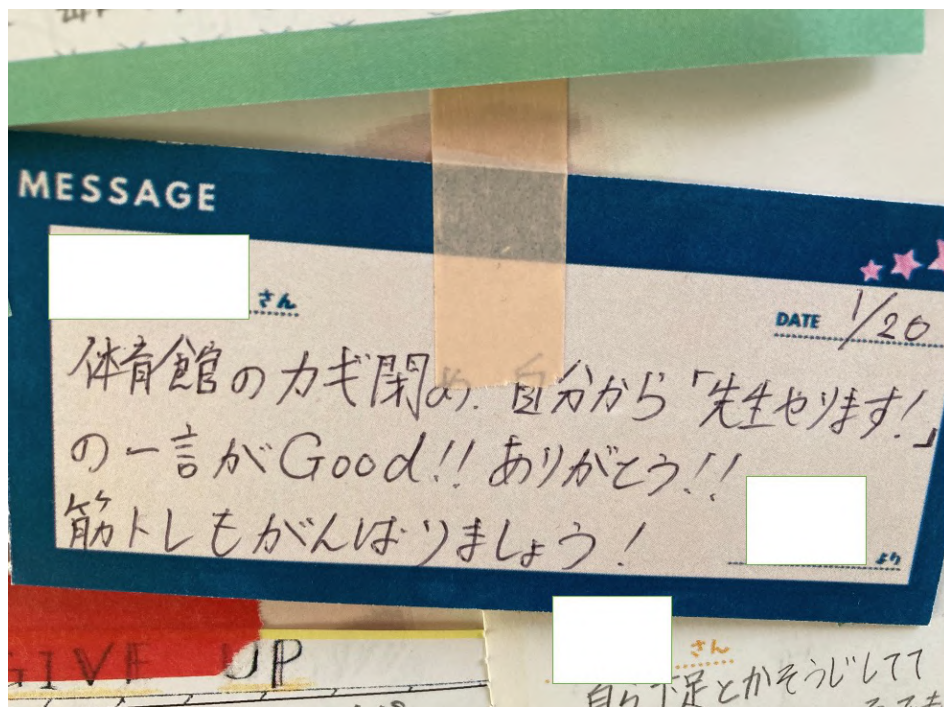
## おみくじパターン



チケット・付箋に  
メッセージを書く  
パターン

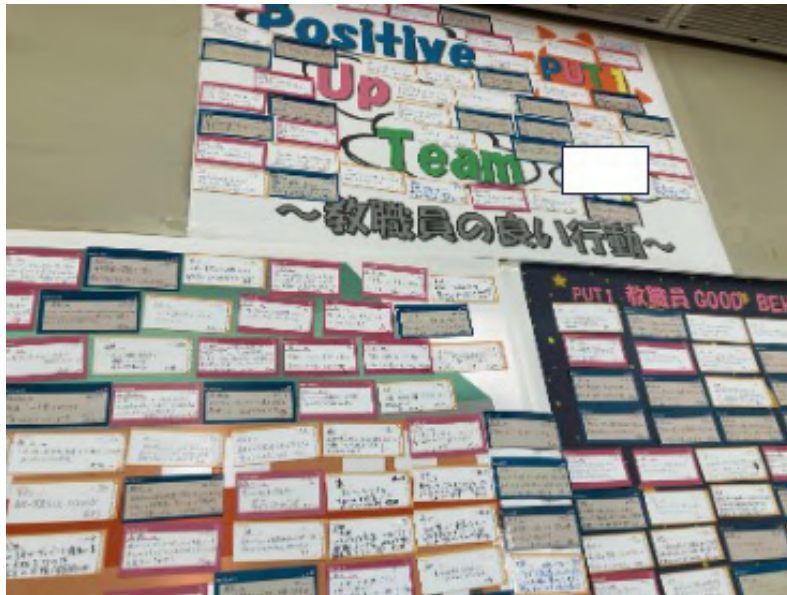








## 教職員間のチケット（期間限定で実施）



## グラフ・表で達成率を示すパターン



## 子どもの行動の変化を写真・動画に撮ってフィードバックに活用するパターン

うわぐつ、きれいにそろっていました！



## 項目 6

各学級においても、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き出すための工夫をすること、望ましい行動を承認・称賛することなど、学校全体と同じ方向性でPBSの実践が行われている

マトリクスは  
教室内にも掲示？

教室内でも望ましい  
行動が教えられている？

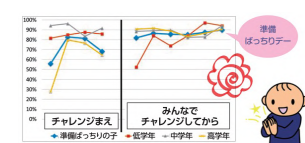
ポジティブなフィード  
バックは教室内でも？

[illegible]

教員によるモデリング (悪い例)



教員によるモデリング(よい例)

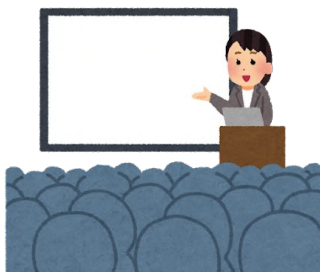




## 項目 7

全ての教員が参加するPBSの実践に取り組むための研修が計画もしくは実施されている  
(年に1回以上、15分程度のミニ研修も含む)

講義形式



ワークショップ形式



※どのような形式でもよいが、  
全教員対象のPBS研修が年1回はあることが大切

## 項目 8

年1回は、学校全体で行っているPBS実践内容とその成果について、全教員で振り返る機会を設けている(マトリクスの内容、望ましい行動の教え方、フィードバックの方法など)

今年度のPBSの実践内容と  
成果について(データをもとに)  
振り返る



次年度の改善計画も  
立てられるとベスト!!

ポジティブ  
行動  
マトリクスの  
内容は...

望ましい行動  
への  
フィードバック  
は...



## 項目 9

学校・園でのポジティブな行動支援の取組について、  
過去1年以内に地域住民や保護者へ情報を発信している  
(お便りや学校運営協議会での報告など)

お便りでの発信



学校運営協議会での  
報告・意見交換

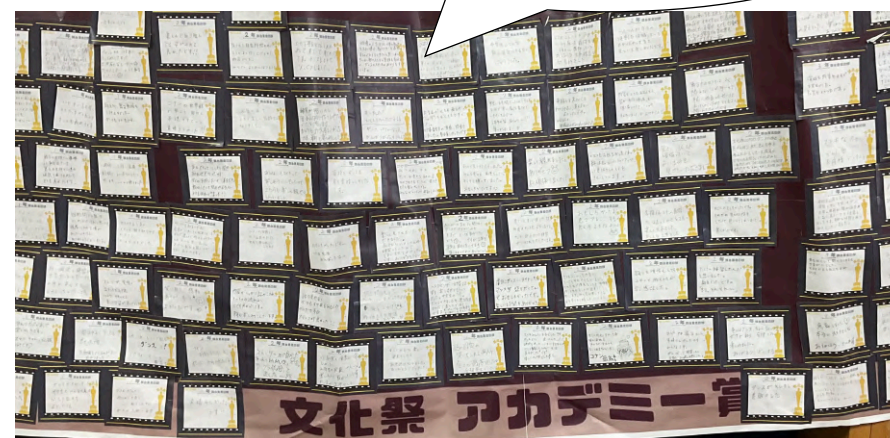
本校のポジティブ行動  
マトリクスの内容は...

ポジティブ行動支援  
の実践としては...



## 地域連携するパターン

学校行事の際に保護者・  
地域住民からチケットに  
コメントを書いてもらう

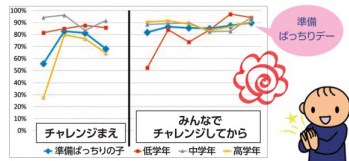




## 項目 10

ポジティブな行動支援の実践に関して、何らかの記録やデータを取り、それを定期的に教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用している

### 望ましい行動の記録

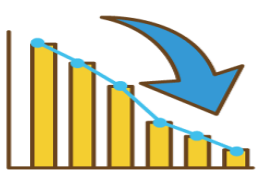


などを...

定期的に教員間で  
(望ましい行動の記録は  
児童生徒とも)共有する



### 問題行動の記録



PBS実践による  
効果を期待して  
いるアンケート



## 参考書籍



## ポジティブ行動支援 Positive Behavior Support

徳島県では、令和4年度までは「ポジティブな行動支援」を、令和5年度からは「ポジティブ行動支援」です。(ホームページ内では、両方の言葉が使われています。)

「特別支援まなびの広場」  
で検索  
→ポジティブ行動支援  
→パンフレット等

研修資料・教材例 研修用動画 実践事例 パンフレット

徳島県立総合教育センター特  
別支援・相談課

ホーム

特別支援教育に関する  
FAQ

特別支援教育に関する  
e-ラーニング

あどばいすタイム

学習教材e-ラーニング

算数の学習教材

ポジティブ行動支援

研修資料・教材例

実践事例集Ⅴ

キラキラ2025ポジティブ行動支援実践事例集Ⅴ (R6年度) (pdf)

実践事例集Ⅳ

キラキラ2024ポジティブ行動支援実践事例集Ⅳ (R5年度) (pdf)

実践事例集Ⅲ

キラキラ2023ポジティブ行動支援実践事例集Ⅲ (R4年度) (pdf)

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/3ccf8abe555bf918ea912652b4aaa547>

## ポジティブ行動支援に 興味を持たれたら...

日本ポジティブ行動支援  
ネットワーク

Zoomセミナー、  
実践交流会を  
毎月実施して  
います

APBS Network Japan  
日本ポジティブ行動支援ネットワーク

TOP / 日本ポジティブ行動支援ネットワーク (APBS Network Japan) とは

日本ポジティブ行動支援ネットワーク (APBS Network Japan) とは

日本ポジティブ行動支援ネットワーク (国際名称: APBS Network Japan, 略称: APBS-J) は、「ポジティブ行動支援」(PBS) の実践・普及を目的とする国際組織である The Association for Positive Behavior Support の日本組織として正式に承認された団体です。(2017年3月1日 承認)

目的

日本ポジティブ行動支援ネットワークは、行動支援に関する専門的知見によって、人々の生活の質を生涯に渡って高めることを目指します。科学的に効果が検証された「ポジティブ行動支援」を推進し、人々とその家族、学校、各種機関、地域にとって、社会的に意義のある成果を実現することを目的とします。